



第35回

経験を伝えよう

～経験を伝える表現～

学習のポイント

- ～したことがある（経験）
- 過去のことを言うのとどう違うか

英語監修・執筆 鳥飼慎一郎

■コミュニケーション

私たちはよく自慢話をします。「俺はマッターホルンに登ったことがあるんだけど、君はある？」「私、ビル・ゲイツに会ったことがあるの、すごいでしょ」「海賊船に乗ったことがあるんだ、本物のだ」など人の自慢話は尽きないものです。

この自慢話というのは、実際にそれをやったのは過去であっても、まるで今のことのように生き生きと話します。英語では、このような感覚を表現するときに、「**have (has) + 第3の形**」を使います。この「**have (has) + 第3の形**」を使って上の自慢話を英語で言うと以下ようになります。

I have climbed the Matterhorn. Have you?

I have met Bill Gates. Can you believe it?

I have got aboard a pirate ship. A real one!

もしも同じことをこれまでに学習した「以前の動きを表す形」で言ってみると、以下ようになります。

I climbed the Matterhorn. (マッターホルンに登りました)

I met Bill Gates. (ビル・ゲイツに会いました)

I got aboard a pirate ship. (海賊船に乗りました)

どの文も、既に終わった出来事を、過去の一コマとして述べているような感じがあります。一方、「**have (has) + 第3の形**」は過去の事柄であっても現在と結びつけ、今との強い関連の中で述べている感じが伝わる英語の表現です。

イギリスではクリケット (cricket) というスポーツが盛んですが、「クリケットってやったことある?」「ないよ。そんなスポーツ聞いたことがない」「イギリスで見たことはあるわよ」なども、「**have (has) + 第3の形**」を使うと、以下のように表現できます。

Have you played cricket? (クリケットってやったことある?)

No. I have not heard it. (ないよ。聞いたことがない)

I have seen it in England. (イギリスで見たことはあるわよ)

最初の文は、クリケットを過去から今に至るまでに、やったことがあるのか否かを聞いています。2番目の文は、クリケットなんて聞いたことがないと、これまでの記憶を振り返って、述べていま

す。最後の文は、そういえばイギリスで見たことがあると、これもまた過去を振り返りつつ、クリケットを見た経験を述べています。

これらの文も、動きを表す語の以前の形を使うと、ずいぶんと感じ方が違ってきます。

Did you play cricket? (クリケット、やった?)

No. I did not hear it. (ないわ、クリケットについて聞かなかったわ)

I saw it in England. (イギリスで見たわよ)

これらの文は全て、以前の出来事について述べています。英語の感覚としては、どれもそのときに完結しており、今とは関係が無いという意味合いになります。

「**have (has) + 第3の形**」が、今との関連の中で物事をとらえる表現であることは、以下の文を見るとさらによくわかります。

Have you seen the picture? (写真、見てくれた?)

Have you read today's newspaper? (ねー、今日の新聞読んだ?)

Have you talked to Ms Smith? (スミスさんにはもう話をしましたか?)

1番目の文は、既に自分が相手に見せたい写真を送ってあるのでしょうか。その写真をもう見てくれたかどうかを聞いています。写真を見たのであってもそれは以前の動きですが、その写真について話をしたいのはまさに今です。

2番目の文は、何か面白い記事でもあったのでしょうか。まさに今からそれについて話題に取り上げて話をしたい気持ちがよく表れています。

3番目の文は、スミスさんに話をするように以前言っておいたので、それを今に至るまでに実行したかどうかを聞いているような感じです。どの文も今の視点で語ったものです。

■単語や表現

before, ever, yet, never

「**have (has) + 第3の形**」を使った表現は、今の視点から以前のことを振り返って使いますので、「以前に」という意味の **before** がよく一緒に使われます。例えば、「タコ焼きを食べたことある?」と聞く場合にも、

Have you tried takoyaki before? (以前にたこ焼きを食べたことある?)

と、**before**を加えて質問すると、一層これまでの経験を聞いていることがよく伝わります。同じように、**ever** (これまでに、今までに) も「**have (has) + 第3の形**」とよく一緒に使われます。

「これまでにトルコ・コーヒーを飲んだことある?」も、

Have you ever drunk Turkish coffee?

(トルコ・コーヒーを今までに飲んだことがありますか?)

と聞けば、これまでのことを振り返ってもらい、そのような経験があるかを聞いていることがはっきりします。

このような質問に対して、「飲んだことはありません」と答えるのであれば、次のようになります。

I have not drunk Turkish coffee. (トルコ・コーヒーを飲んだことがありません)

I have not drunk Turkish coffee yet.

(トルコ・コーヒーを今までに飲んだことがありません)

I have never drunk Turkish coffee.

(トルコ・コーヒーを今までに飲んだことが一度もありません)

1 番目の文は、普通の打ち消しの文です。**not** を **have** の後に付けて、「～ではない」ということを示しています。2 番目の文では、**yet** という語が新たに加わっています。この語は、**not** と共に用いられて、**not ~ yet** で「まだ～したことがない」という意味になります。最後の文では、**never** が使われています。この語は「～したことが全くない、一度もない」という意味で、かなり強い打ち消しの語です。

been

「どこどこへ行ったことがありますか」と聞くときに、つい「行く」につられて **go** の第3の形である **gone** を使いたくなります。「スペインに行ったことがありますか？」を、**Have you gone to Spain?** と言いたくなりますが、正しくは

Have you been to Spain? (スペインに行ったことがありますか?)

で、**be**の第3の形の**been**を使います。**gone**を使いますと「行ってしまっただけで今はいない」という意味です。

He **has gone to Spain**. (彼はスペインに行ってしまっただけで今ここにはいない)

■英語のきまり

今までのことを話していると、どうしても「今までにそれを何回したことがあるのですか？」と聞きたくなります。そのときに使うのが、**How many times ~?** です。

「今までに何回遊園地に行ったことがあるのですか？」とを聞くのであれば、

How many times have you been to Nikko ?

(日光に何回行ったことがありますか)

と質問すればよいのです。もしも1回なら**once**、2回なら**twice**、3回なら**three times**、3回以上は「数字+times」で答えます。もちろんわかっている箇所は繰り返さずに省略してもかまいません。

I have been to Amusement park once / twice / three times.

(私は遊園地に1回 / 2回 / 3回行ったことがあります)

How many times have you seen the rainbow?

(今までに虹を何回見たことがありますか?)

(I have seen the rainbow) many times. (何度もあります)

How many times have you heard the name of the old city?

(その古い都市の名前をどのくらい聞いたことがありますか)

I have seen it only twice. (2回だけです)

